

市民と議会との語る会実施報告書

日	時	令和4年4月21日(木) 午後 1時30分 ~ 午後2時26分
会	場	越前市役所 第3委員会室
出席議員		三田村 輝士、清水 一徳、前田 修治、安立 里美、吉田 啓三、橋本 弥登志、桶谷 耕一
参加者(市民)		地域包括支援センター長 6名(男性: 2名、女性: 4名)
開会挨拶・司会・報告・記録		挨拶:三田村 輝士 委員長 司会:前田 修治 議員 記録:清水 一徳 副委員長、桶谷 耕一 議員
【1部】 事業の状況と課題について		・あいの樹:3職種(保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー)を揃えることが大変であった。事務と現場を行いながらの給付管理に苦労した。総合相談が多くなっている。24時間対応するために職員が交代で携帯を持っている。今年はずっと地域に出ていくことを目標にしている。 ・市社会福祉協議会:総合相談窓口の認知度が地域で上がっている。 独自でアンケート調査を実施している。地域内に「いきいきふれあいのつどい」が41か所あり、そこで介護予防、認知症、虐待について伝えている。事務所は月曜日から金曜日までで、時間は午前8時30分から午後5時までだが、それ以外は24時間転送電話で対応している。今後も民生委員との協力が必要。 ・しくら: 3職種は常勤で配置しているが、ベテラン職員の退職により、地域との繋がりや民生委員との連携が希薄になった。事務所を妙法寺町に変更した。事務所を訪れる人は少ないが、アウトリーチを中心に実施している。居宅の支援は、エリア内にあるのは、当法人だけであるので、今後とも連携して行く。当法人で設置している認知症初期チームは、他の地域包括支援センターとも連携している。 ・丹南きらめき: 昨年の委託を受けて6名の体制でやっている。特徴として認知症に力を入れている。認知症カフェを実施、職員の中にキャラバンメイトが4名いる。課題としては、認知症を学生、生徒の方に知ってほしいが、学校の行事が詰まっていて、開催実績が少ない。その他に「みんなの保健室」をハーツの中で実施している。 ・メゾンいまだて: 地域の自助、互助の力を高めることを「つどい」の活動で実施している。地域の課題として、交通インフラの脆弱性がある。結いの里カフェを実施し、その中で、フレイルチェック、出張窓口、相談申請を同時にやっている。

【2部】意見交換会	Q: 時間外対応について、転送電話での対応状況は。 A: (あいの樹)月曜日から土曜日、土曜日は12時30分まで。 (しくら)毎日スタッフが常駐している。 (メゾンいまだて)月曜日～金曜日に対応している。 (しくら)土日もスタッフを配置して対応している。 (メゾンいまだて)月～金が勤務日 土日の「つどい」については出向している。 (きらめき)時間外に年間8回地区別に認知症カフェを実施している。多くて11名が参加している。継続して行く意味はあると思う。 Q : 時間外勤務時の処遇はどうなっているのか。 A : (あいの樹)時間外手当を支給している。 (社協)超過勤務手当を支給している。 (しくら) 代休で対応している。 (きらめき)フレックスタイム制度を導入している。 (メゾンいまだて)夜間超勤で対応している。通常の仕事とのバランスをとっている。 Q 夜間はどの程度出務勤があるのか。 A (あいの樹)夜間は少ない、日曜日の昼頃に一日一件程度。 (社協)一週間で10件程度。 (しくら) 訪問看護やケアマネジャーと連携して時間外は月2～3回程度。 (きらめき)そんなに多くはない。 (メゾンいまだて)緊急性のある場合は月1件～2件。 Q 体制的な人員構成は。 A (あいの樹)3職種が常勤とケアマネジャーが非常勤。 (社協)3職種は常勤。ただし、保健師は非常勤。その他訪問時複数対応する場合は元警察官を雇用している。マネジメントは、ケアマネジャー7人態勢。 (きらめき)全員で6人。3職種と介護福祉士。 (メゾンいまだて)3職種4人。センター長と事務を増員。マネジメントの負担軽減として、ケアマネジャーを配置したい。
------------------	--

令和4年 4月 22日

越前市議会議長 様

教育厚生委員会 委員長
三田村 輝士